KAKUDAI

サーモスタット用カートリッジ

104-003

施工説明書

施工前に必ずお読みください。

お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保管してください。

取付方法

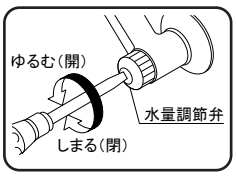
＊取付けの際は、混合栓に付属の取扱説明書および施工説明書を合わせて参照してください。

1.湯・水側の水量調節弁を閉めて止水します。

湯・水側両方の水量調節弁を「マイナスドライバー」などで右方向にまわして止水します。

＊この時、水量調節弁が何周まわって止まったのかを覚えておいてください。

＊水量調節弁がないタイプの混合栓の場合は、止水栓または元栓を閉めて止水してください。

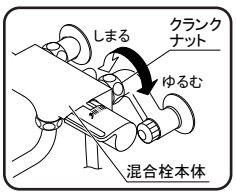


⚠ 切替ハンドルを吐水状態にしても水栓から水が出ないかを確認してください。止水不良により水がもれ、家財に損害を与える恐れがあります。

2.混合栓本体をクランクから取外します。

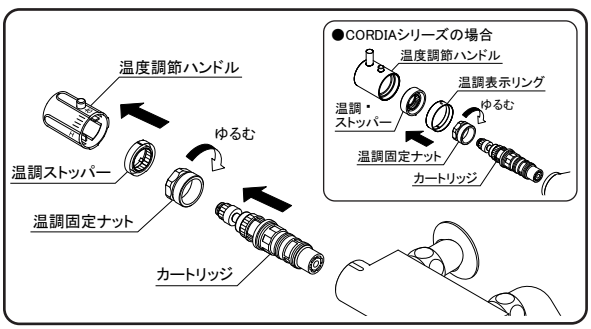
「レンチ」などでクランクナットをゆるめて、混合栓本体とクランクパッキンをクランクから取外します。

＊取外したクランクパッキンは後で使用しますので、なくさないように注意してください。



⚠
- 混合栓本体は重量があります。落下などに十分注意して作業を行ってください。
- 混合栓本体を取外す際は、クランクが絶対にゆるまないようにしっかりと固定して作業を行ってください。

3.古いカートリッジを取外します。



①温度調節ハンドルを抜取ります。

＊CORDIAシリーズは温調表示リングも抜取ってください。

②温調ストッパーを抜取り、温調固定ナットを「レンチ」などで取外します。

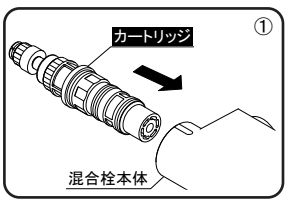
③古いカートリッジを抜取ります。

⚠ 作業の際は軍手・あて布などを使用し、手などをケガしないよう注意してください。

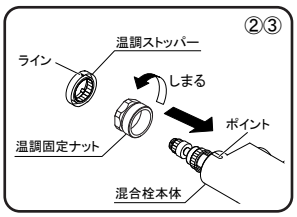
4.新しいカートリッジを取付けます。

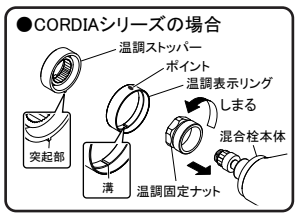
①新しいカートリッジを奥までしっかりと差込みます。

＊カートリッジを軽く引っ張り、抜けないかを確認してください。



取付方法(つづき)





②温調固定ナットを「レンチ」などで締付けます。

③ラインが真上を向くように温調ストッパーを差込みます。

＊CORDIAシリーズの場合は、温調ストッパーの突起部を温調表示リングの溝にはめた後、温調表示リングのポイントを真上に向けて混合栓本体に差込んでください。

⚠
- カートリッジを交換する際は、混合栓本体をしっかりと支え、軍手・あて布などを使用して作業を行ってください。手などにケガをする恐れがあります。
- 温調固定ナットは十分に締付けてください。施工不良によりカートリッジが正常に機能しない恐れがあります。
- カートリッジは絶対に分解しないでください。故障の原因となります。

5.混合栓本体をクランクに取付けます。

①クランクに2.で取外したクランクパッキンをはめ込み、混合栓本体を取付けます。

②「レンチ」などでクランクナットを均等に締付けて混合栓本体を固定します。

⚠
- 混合栓本体は重量があります。落下などに十分注意して作業を行ってください。
- 混合栓本体を取付ける際は、クランクが絶対にゆるまないようにしっかりと固定して作業を行ってください。

6.湯・水側の水量調節弁を開きます。

切替ハンドルを止水状態にしてから、湯・水側両方の水量調節弁を「マイナスドライバー」などで1.でまわした回数だけ左方向にまわして開き、各部に水もれがないかを確認します。

＊水もれが発見された場合は、水量調節弁を閉めて水もれする箇所を施工し直してください。

＊水量調節弁がないタイプの混合栓の場合は、止水栓または元栓を開いてください。

⚠ 水量調節弁を開く際は、切替ハンドルが止水状態であることを確認してください。止水不良により水がもれ、家財に損害を与える恐れがあります。

7.吐水温度を調節し、温度調節ハンドルを取付けます。

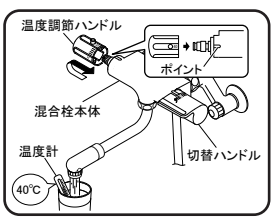
①温度調節ハンドルを軽くはめ込んでから切替ハンドルを吐水口(スパウト)側に開きます。

②温度計で測りながら、40℃のお湯が出る位置まで目盛数値に関係なく、ゆっくりと温度調節ハンドルをまわしていきます。

③吐水温度が40℃になりましたら、温度調節ハンドルがそれ以上まわらないように注意しながら、温度調節ハンドルを抜取ります。

④温度調節ハンドルの「40℃」の目盛部分が混合栓本体のポイントに合うように、温度調節ハンドルを混合栓本体にはめ込みます。

＊温度調節ハンドルをはめ込む際、混合栓本体をしっかりと押さえてください。



●水と住まいの接点
株式会社カクダイ
本社　〒550-0012　大阪市西区立売堀1-4-4　☎(06)6538-1124

1209GF　M-C0112

無断転載・複写を禁ず